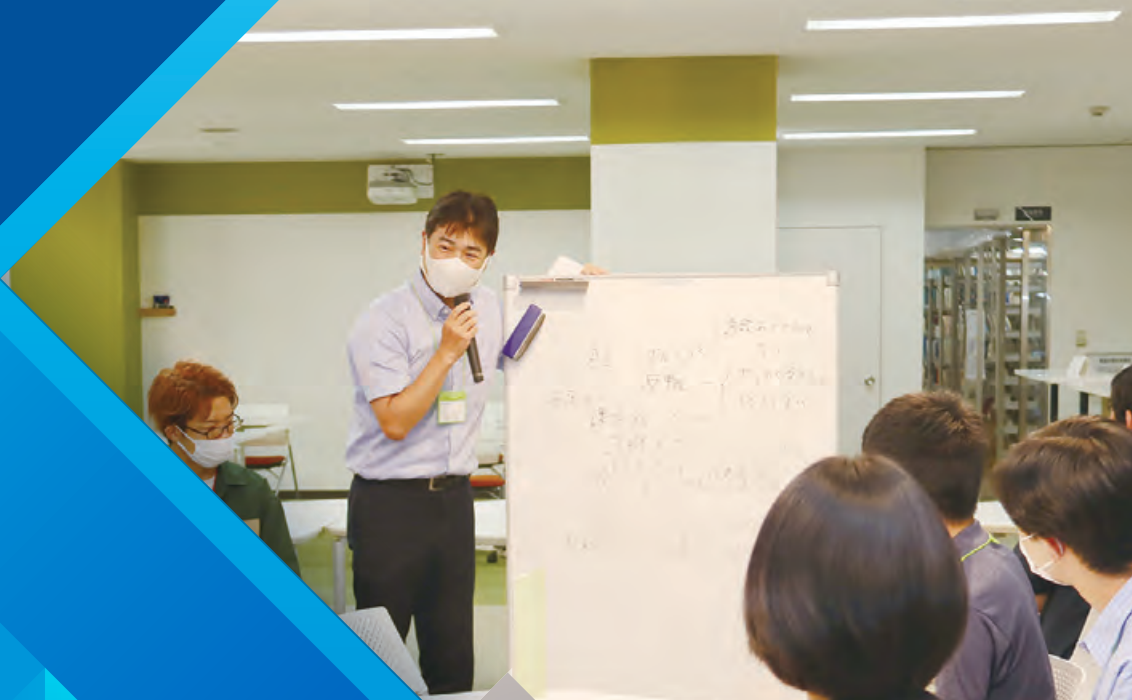


VOL.1



## CONTENTS

- 機構長メッセージ……………1
- 教育開発推進機構について…2
- 取組内容 ……………3

福岡工業大学  
教育開発推進機構

# NEWS LETTER

# 機構長メッセージ

福岡工業大学では、学園全体(大学・短大・高校)のビジョンを明確に示し、設置三校それぞれの改革・改善を促進するために中期経営計画(マスタープラン)を策定しています。第9次マスタープラン(2022~2026年度)では、「学修者本位の教育の高度化」を最重要課題に掲げ、教育改革を推進するための全学マネジメント改革に取り組んでいます。その具体的方策として2023年4月FD<sup>1</sup>推進機構を再編して教育開発推進機構を設置することし、新たな教育改革・改善活動等を推進していくこととしました。

変化し続ける現代社会では大学教育においても教育の在り方に大きな転換が求められています。機構では、教育の質保証、教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発およびその支援の取組みを実行し、全学レベルのFD活動の実践をさらに高める体制を整え、本学の教育開発の拠点として改革を進めてまいります。

福岡工業大学教育開発推進機構への、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



教育開発推進機構長

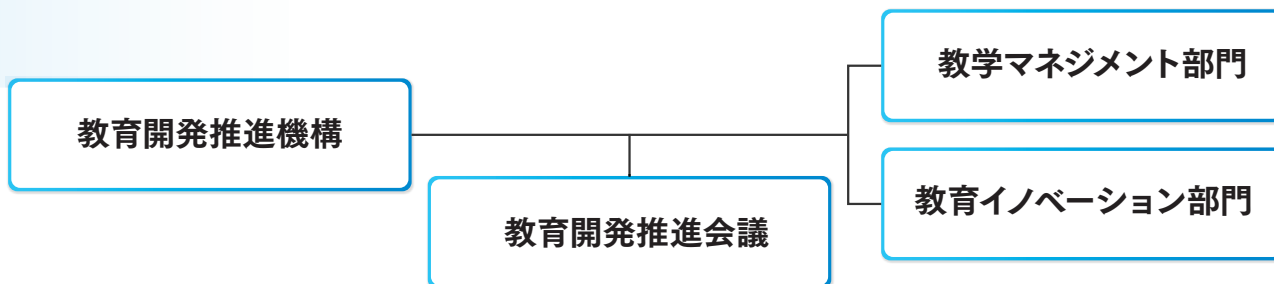
**前田 洋**



<sup>1</sup> FD(Faculty Development)とは、本学における教育内容及び方法を改善し向上させるための組織的な諸取組です。

# 教育開発推進機構について

教育開発推進機構では、教育の質保証、教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発およびその支援の取組みを実行し、新たな教育改革・改善活動を全学的に推進しています。機構にカリキュラム等の教育の質保証及び質向上を所轄する「**教学マネジメント部門**」と教育改革の方針に係る企画立案及びその実施に関することを所轄する「**教育イノベーション部門**」を設置し、新たな教育改革・改善活動を推進していきます。



## 各部門の主な取組み

### ◆ ① 教学マネジメント部門

- i) カリキュラム等の教育の質保証及び質向上に関すること
- ii) 学修成果の可視化および教育・学修に関するデータの収集・分析(教学IR)に関すること
- iii) 教育手法の開発および検証に関すること
- iv) 全学的なFD(Faculty Development)の企画実施及び学部等におけるFD活動の支援に関すること
- v) 教育の改善に取り組んだ教職員に対する評価・顕彰に関すること
- vi) その他、教育の質保証および教育力向上に関すること

### ◆ ② 教育イノベーション部門

- i) 本学の教育改革の方針に係る企画立案およびその実施に関すること
- ii) 分野・学部等を横断する教育プログラムの開発および支援に関すること
- iii) 大学院教育と学部教育の連携に関すること
- iv) 教育に関する競争的資金獲得に関すること
- v) 教育に関する学内公募型プロジェクト(特別予算)の企画及び審査に関すること
- vi) 他の大学又は社会との教育連携事業に関すること
- vii) その他、教育改革に関すること

# 取組内容

## 教育点検

本学では、教育の質保証の仕組みとして2019年度にアセスメント・ポリシーを試行導入し、2年間の試行運用を経て、2021年度からアセスメントプラン(学修成果の評価・改善の方針)として本運用に移行し、教育点検活動を本格化しました。本プランは、本学で定める3つのポリシーが適切であるかどうか、また3つのポリシーに基づき適切に機能しているかの視点から、学生が確実にディプロマ・ポリシーを達成できるようカリキュラムをマネジメントするため、大学、学部学科(カリキュラム)、授業科目、学生のそれぞれのレベルでの学修成果および教育成果を総合的に点検し、その結果を教育・授業改善、ならびに学生自身の成長に繋げていくことを目的としています。

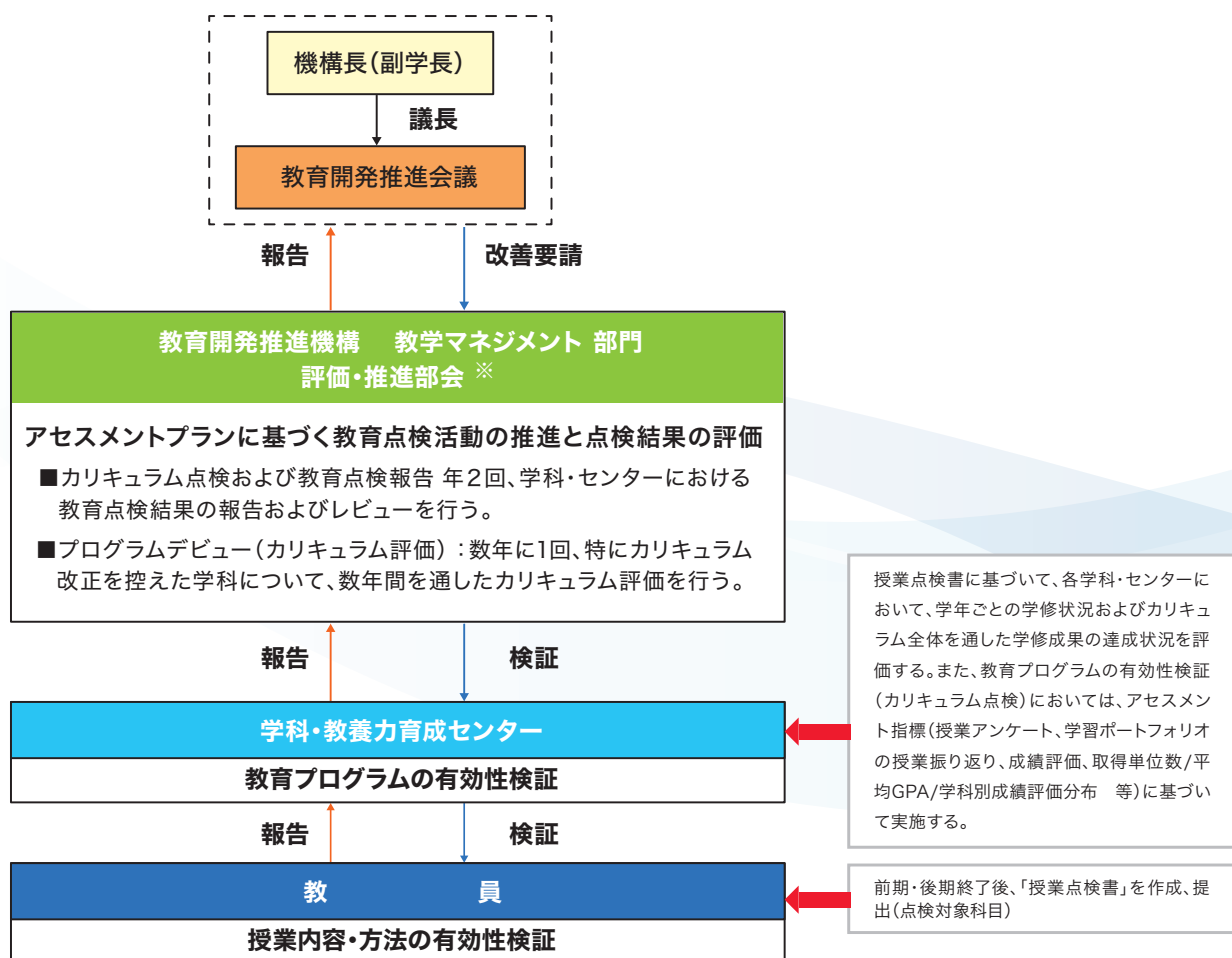
各レベルにおける評価・改善の方針はこちら

リンク▶

[https://www.fit.ac.jp/kyoiku/rinen/assessment\\_policy](https://www.fit.ac.jp/kyoiku/rinen/assessment_policy)



## 授業科目レベル・カリキュラムレベル・全学レベルのアセスメントの流れ

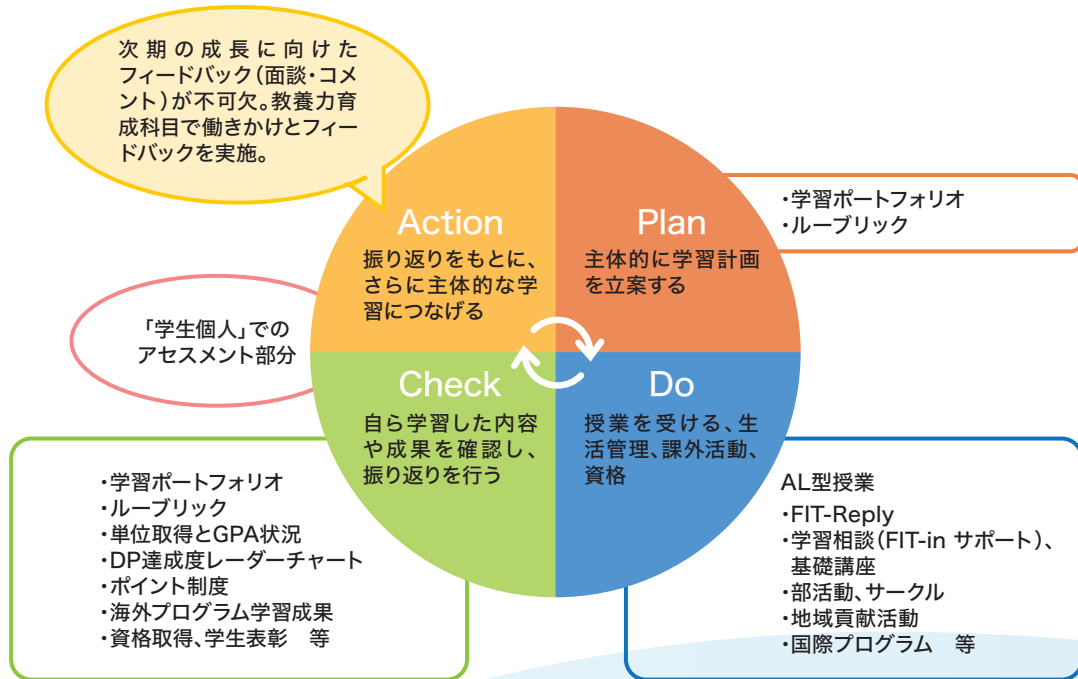


### ※【評価・推進部会 構成員】

部門長、各学部長、教養力育成センター長、研究科長、教学マネジメント委員、部門員、特任教員

## 学生レベルのアセスメント

本学のアセスメントプランにおいては、学生レベルのアセスメントが位置付けられており、教養力育成センターを起点に、FIT-AIM(学習ポートフォリオ)を活用した目標設定と振り返り支援、外部アセスメント受験と結果のフィードバックなどの取組を行っています。



## 教学IR

本学は、「学修者本位の教育の高度化」を最重要課題とする第9次マスタープラン(2022~2026年度)に沿って、個別最適な学びを実現する「学修者本位の教育」の推進および、教育改革を推進するための「全学的なマネジメント」改革に取り組んでいます。この中で、教学マネジメント部門では、教育・学修に関するデータを収集・分析し(教学IR)、学修成果の可視化を行うとともに、教学IRを推進・活用しながら、全学的な教育システムを企画・実施するなど、教学マネジメントの確立に向けた取組を行っています。

【主な実施調査・アンケート】

- ・授業アンケート
- ・卒業時調査
- ・学生調査
- ・アセスメントテスト等
- ・卒業生調査

### ■アセスメントの項目と指標

レベル	アセスメントの項目と指標	
	CPIに即した学修が進められているか	DPの修得状況
大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA(成績推移)</li> <li>・成績評価分布</li> <li>・修得単位数</li> <li>・IRコンソーシアム学生調査(満足度調査学習行動調査)</li> <li>・退学率・休学率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時調査</li> <li>・卒業生調査</li> <li>・企業調査</li> <li>・就職率</li> <li>・就職先状況データ</li> </ul>
学部・学科(カリキュラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA(成績推移)</li> <li>・成績評価分布</li> <li>・修得単位数</li> <li>・退学率・休学率</li> <li>・IRコンソーシアム学生調査(満足度調査・学習行動調査)</li> <li>・授業アンケート</li> <li>・資格取得者数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時調査</li> <li>・卒業生調査</li> <li>・企業調査</li> <li>・就職率</li> <li>・就職先状況データ</li> <li>・DP達成度集計</li> <li>・主体性ルーブリック集計</li> </ul>
授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価分布</li> <li>・授業アンケート</li> <li>・学修履歴(ポートフォリオ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DP達成度集計</li> <li>・主体性ルーブリック集計</li> </ul>
学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価</li> <li>・学修履歴(ポートフォリオ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究等の成績評価</li> <li>・GPA</li> <li>・修得単位数</li> <li>・DP達成度集計</li> <li>・主体性ルーブリック評価</li> </ul>

# 本学のFD活動について

本学の教育改革は教育開発推進機構(機構長:副学長)を中心に推進しています。教育開発推進機構では、教育の質保証、教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発およびその支援の取組みを実行し、新たな教育改革・改善活動等を推進することを目的とし、FDに関する企画、開発、実施、関連情報の収集活動等を通して全学的にFD活動を推進しています。



## 本学が求める教員像とFD活動

本学では、求める教員像を『本学の人材育成目標である「実践型人材」育成のため、熱意をもって学生の主体的学習を支援し、学生の成長を促す教育を行う、豊かな人間性を有する者』と定めています。また、FD活動の方針として、教員の資質の向上ならびに教員組織としての多様な活動全般の改善等に資するため、組織的なFD活動を実施することとしています。

## FD活動の実施内容について

教育開発推進機構が主体となり、FD研修会(FDCafé)の開催、FDerによる活動、学生FD活動(FIT-join)、新任教員FD研修会等の活動を展開しています。それらは、本学の教育改革のフレームである「質保証」・「教授方法の質的転換(アクティブラーニングの展開による知識の定着と主体性育成)」・「機能別分化(職業人育成に向けた教養教育・キャリア教育の充実)」に沿い、適宜のテーマに応じた内容で企画・実施しています。また、学外で開催されるFD関連活動についてマイクロ(授業)・ミドル(カリキュラム)・マクロ(マネジメント)レベルで受講を推奨しています。

## FDCafé

FDCaféでは学部学科を超えて、教職員を対象に授業実践事例の共有や学生との意見交換、教育手法について学ぶワークショップ等を開催しています。これまで開催した研修の資料はオンラインで公開しています。(学内限定)



## 【2022年度のFDCafé開催実績】

開催日時	テーマ	対象
6月22日(水) 16:30~18:00	第24回FD Café 「本学学生に効果的な学びやツールとは」	全教職員
8月29日(月) 9:00~17:00	第25回FD Café インストラクショナルデザインID研修「学生主体の授業デザインと運営手法ワークショップ」	全教職員
9月20日(火) 15:00~16:30	第26回FD Café 「よりよい学びについて話をしよう」FIT-Join 学生・教職員意見交換会	全教職員・学生
12月9日(金) 15:00~16:30	第27回FD Café 学生の主体的な学びを促す手法(ファシリテーション)研修「主体性を導く目標設定、方略設定、動機づけ」	全教職員

## 新任教員FD研修会／節目研修

本学の教育の特色や目指す方向性について理解を深めることを目的に新任の先生方を対象とした研修を実施しています。研修内容として、教育に関する事例紹介やワークショップなどを通して教員間での意見交換も実施するなど、採用年次に合わせた研修を実施しています。教員間の意見交換の場としてご活用ください。

9月上旬

新任教員フォローアップ研修(採用5年以内の教員参加を推奨)

## FIT-SDGsプロジェクト

教職協働のプロジェクトで学生・教職員にSDGsに関するプログラムを開催します。



## 外部セミナー

学外で開催されるFD関連のセミナーや研修会について、マイクロレベル(授業の改善)・ミドルレベル(カリキュラムの改善)・マクロレベル(組織の整備、改革、マネジメント)の種別について明示して案内していますので、受講の参考にしてください。

## 本学におけるファカルティ・ディベロッパー(FDer)の定義と役割

本学におけるFDerとは、本学の各教員や組織そのものが教育活動を改善・向上させ、集合体としての組織的教育力を高めることができる環境を整備する人材を指します。FDerはAL型授業の全学展開をリードし、その活動をもって、本学の育成すべき人材像(実践型人材)の実現に欠かせない、学生の「能動的な学習態度の涵養」と「知識の定着」に寄与します。2016年度から2019年度にかけて7名が認定を受け、学長より認定証が授与されました。



## 学生FD活動 FIT-join

本学における学生FD活動(団体名:「FIT-join」)は、本学の授業改善を教員・職員・学生の三位一体で改善・向上させようとする取り組み、およびそれに関わる活動です。

FIT-joinスタッフは本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生を“つなぐ”活動によって本学での「学びのコミュニティづくり」の役割を担っており、学生の本音を吸収し、学生が感じていることを教職員に伝え、また教職員が考えていることや課題を学生の視点から考え、それを学生に伝える存在として活動しています。



HPURL インスタURL 最新の情報はこちらをご覧ください  
[https://instagram.com/fit\\_join?igshid=YmMyMTA2M2Y=](https://instagram.com/fit_join?igshid=YmMyMTA2M2Y=)  
ユーザーネーム: FIT\_JOIN



**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
**福岡工業大学**

発行元:福岡工業大学 教育開発推進機構

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 E棟3階

TEL:092-606-7370 FAX:092-606-7379

Mail:e-kaihatsu@fit.ac.jp web:http://www.fit.ac.jp/

発行日:2023年4月1日